

1. 東京都第三者評価推進機構提出内容

1	<p>理念・方針 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>1)のびやかに育てだいちの芽 2)みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛(信頼・安定・共感) 3)陽だまりのような保育園 4)地域と共に育つ保育園 5)子どもと共に輝いていける保育園</p>
2	<p>期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>にじいろ保育園の理念、保育方針、保育目標を理解し、その目標にむけて計画的に日々の保育を行う。子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い共感しながら保育をする。たくさんの愛情と笑顔で接することで保育園が楽しいと思ってもらえるよう努力をおしまない。一人ではできない仕事なので他の職員とのコミュニケーションをきちんと取り、自分の考えを相手に伝えたり、アドバイスを素直に聞き入れ保育に役立てようとする人材が必要。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>乳幼児の発達を理解しながら成長を促す活動を計画的に取り入れる。日々の保育の中で個々に合わせた支援、援助をしていく。それぞれの家庭環境や状況、保護者さまの就労状況をふまえて柔軟な対応や支援を行いながら園と家庭が連携をとりながら子どもの成長を見守る。疑問に思ったことは何でも聞き、意見を言い合いながらどの方法が子どもにとって一番いいのかを職員同士が話し合い実践してもらいたい。臨機応変に動けることも大事。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	新園長のリーダーシップのもと、さまざまな園内改革が進められています
	内容	今年度から着任した園長は、職員が余裕をもって業務にあたるように、残業のない勤務体制を整え、職員が外部研修にも参加できる環境作りに努めています。また、会議では職員が一人ずつ必ず発言できるように配慮して、職員全員が自信を持って、仕事が楽しいと思える風通しの良い雰囲気作りにも努めています。園長は本社の方針と現場職員の思いを調整しながら、仲介役としての責務を果たすことで、現場職員の意見を大切にしたい働きやすい職場環境の改善にも取り組んでおり、園長のリーダーシップのもと、さまざまな園内改革が進められています。
2	タイトル	手作り玩具など、子どもが楽しく遊べるアイデアが豊富です
	内容	手作りを得意とする職員を中心に、牛乳パックや段ボール、その他廃材を活用した手作り玩具や飾り付けが次々と生み出され、園内は子どもが楽しく遊べる手作りのアイデアで彩られています。今年度から乳児会議では、個数と期限を決めて、職員が計画的な玩具作りにも取り組み始めています。3歳児クラスでは自分たちで作った太鼓などを使い0歳児クラスで演奏したりしています。職員から始まった手作り玩具の取り組みが、子どもの手作り意欲を引き出し、今後もさらなる発展が期待されます。
3	タイトル	地域交流の開拓に積極的に取り組み、子どもの生活に豊かな広がりが見られています
	内容	当園は、地域の病院併設の高齢者施設や保育所併設のデイホームに声をかけ、地域高齢者と子どもとの交流に取り組んでいます。5歳児クラスの子どもたちが施設を訪問して、風船バレーを一緒に楽しみ、ソーラン節を披露するなど、高齢者と楽しい時間を過ごしています。近隣の保育園とも交流してプールを借りにでかけたり、区内の幼稚園・保育園児による合唱発表会に2年ごとに参加したり、近隣神社のお祭りにも参加しておみこしを担いだり、近くのガソリンスタンドの方に声をかけてもらったり、子どもたちの生活に豊かな広がりが見られます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ブログの更新頻度を上げて、さらなる情報提供に努められると、なお良いでしょう
	内容	本社ホームページには系列園ごとにブログ用のページが用意されており、園内イベントや日々の保育の様子が画像入りで掲載、紹介されています。ブログの更新は各園に任されていると伺っており、今年度に入ってから訪問調査日までの時点で、本園のブログ更新は1回に留まっています。ブログは、保護者ばかりでなく、地域住民や入園希望者も閲覧することができる有益な情報提供ツールですので、今後は更新頻度を上げて、さらなる情報提供に努められると、なお良いでしょう。
2	タイトル	職員の定着に向けた取り組みと人材構成の確保に引き続き取り組まれることを期待します
	内容	毎年職員の入れ替わりが多い傾向にあり、常勤職員の平均在職年数が2年となっています。また、常勤職員の平均年齢が27才と経験年数が10年以下の職員で構成されており、主任やベテラン職員が不在の状況となっています。今回の利用者調査では、職員に対する信頼は厚く、評価も高いことがうかがえますが、毎年、担任が変わることについては不安の声も寄せられています。現在、新園長を中心として職場環境の改善が進められていますが、今後は、園長を補佐し職員をまとめる主任を配置し、職員の定着に向けて引き続き取り組まれることを期待します。
3	タイトル	多様な研修機会を増やし、職員がさらに自信を持って子どもに対応できるようにされることを期待します
	内容	園長は、職員同士の年齢が近いこともあって、保育の中でお手本となって環境を変えようとする職員が少ないと感じ、職員の経験や知識の幅を広げるためにも、他の保育園に見学に行き職員同士で交流したり、研修に行く機会を多く作っていきたく考えています。また、子ども一人ひとりの状況に合わせた対応についても、今後職員のさらなるスキル向上を目標としており、勉強の機会を増やしたいと考えています。職員がさらに自信を持って子どもに対応できるように、多様な研修機会が設けられることを期待します。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル①	職員間で共通認識を持ち、園が目ざす保育実現のための意識改革に取り組んでいます	
内容①	職員の平均在職年数2年と入れ替わりが多い状況の中、園長は職員間で保育に対する考え方に統一感がやや欠けていると感じ、年度当初から、職員の意識改革に着手しています。まずは、園全体で保育の基本を見直しして原点に戻るという観点から、職員全員で保育課程や保育所保育指針の読み合わせをしました。読み合わせをしながら、日々の保育と照らし合わせる作業を行うことで、園が目ざす「あたたかい保育」が職員共通の大きな目標となり、全員が同じ方向を向いて統一的に業務に当たることができるように着実な改革が進められています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる
タイトル②	安全で衛生面に配慮した環境作りに努めています	
内容②	園全体の「安全点検表」に加えて、各年齢ごとの発達と保育環境に応じた「事故防止確認表」、0～2歳児の「午睡チェック表」、職員向け「セルフチェック表」など、本社統一の各種書式を用いて職員は日々点検を行い、子どもの安全管理を徹底しています。感染症予防については看護師と保育士が協働して衛生管理に力をいれており、訪問調査日も感染症の発生数はゼロの状況でした。他園でのプール事故事例を受けて、本社の指示により、緊急時対応訓練を実施してからプール開きすることが義務付けられ、子どもの安全確保には迅速な対応がとられています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者へのあいさつ励行と対応の統一化を図っています	
内容③	園長の指導のもと、職員は常に保護者に明るくあいさつすることを徹底しています。降園時には一日の出来事やエピソードを保護者に伝え、連絡帳の記入含めて、ていねいな対応を職員全員が心がけています。職員間での保護者対応の統一には特に留意しており、情報共有を綿密に行い、保護者の信頼を得るようにしています。今回の利用者調査でも、「先生がとても親切。あいさつや接遇など、とても感じが良い」「子どもや親の気持ちに寄り添って、一緒に子どもの成長を考えてくれている」など、信頼と感謝の声が多く寄せられています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリ1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	あり	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	あり	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	あり	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	あり	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
あり	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
あり	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
あり	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
あり	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
あり	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリ1の講評		
公表コメント	<p>にじいろ保育園の理念、基本方針は本社で作成され、周知されています</p> <p>保育理念や保育方針、保育目標は、本社にて作成され、全系列園共通のものを用いています。保育理念などは、玄関、各保育室、トイレ、事務室など園内各所に掲示して、職員や利用者がいつでも確認できるようにしています。職員は、新卒者、中途採用者ともに入社時に本社開催の研修に参加し、基本方針の理解を深めています。利用者向けには「こども理念」「保育方針(めざす保育團隊)」「保育目標(めざす子どもの姿)」をパンフレットや入園のしおりの冒頭にわかりやすく明記して、見学時や入園説明会でいねいに説明するようにしています。</p>	
	<p>新たに着任した園長のリーダーシップのもと、園内改革が進められています</p> <p>園長は、区の園長会や本社の全体園長会に参加して、今後の課題や保育に関連する情報・動向を入手し、職員に伝えています。園長の役割は本社作成の業務用手引書「保育ガイド」にて職員に周知されており、また、園独自の「大崎マニュアル」には、園長不在時の緊急対応がフローチャートで明記され、職員が迷わず行動できるようになっています。園長は、本社の方針と現場職員の思いを調整し、仲介役としての責務を果たしながら、風通しの良い働きやすい職場環境の改善に取り組んでおり、さまざまな園内改革を進めています。</p>	
	<p>重要な案件については、本社の全体園長会で検討し、決定するしくみです</p> <p>各園ごとに散歩マニュアルを作成することや写真プリント業者の選定など、重要な案件については本社の全体園長会にて検討し、決定を確認するしくみになっています。さらに、系列園から専門職が集う看護師会や栄養士会、主任会といった会合が定期的開催されており、課題に応じて専門的な検討を加えて全体園長会に諮り、対応を決定するしくみとなっています。全体園長会での決定事項は経緯含めて園長が職員会議の中で詳しく説明し、職員に周知しています。また、保護者には、保護者代表参加の運営委員会や各クラスの懇談会の場で説明しています。</p>	
非公表コメント	カテゴリ1の講評補足	以下はカテゴリ1講評に対して補足がある場合記述してください

2		カテゴリー2	
経営における社会的責任			
サブカテゴリー1(2-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		
あり	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		
あり	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		
サブカテゴリー2(2-2)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇●)			
評価	標準項目		
あり	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		
なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		
あり	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		
あり	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
あり	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		
あり	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		

カテゴリー2の講評

「保育ガイド」や「にじいろの保育」に保育士としての規範が明記されています

本社の業務用手引書「保育ガイド」には個人情報の取り扱いが詳記され、職員は規定通りの運用を徹底しています。また本社の標準指針「にじいろの保育」では、人権の尊重や個人情報守秘義務、男女共同参画、虐待について、それぞれ具体的なチェックポイントを列挙して職員に注意喚起しています。特に重要な「保育士の責務と倫理」については、常に職員の目に触れるように事務室に貼り出し、職員会議で読み合わせをして理解を深めています。職員は入社時に秘密保持の誓約書に署名し、新入社研修で職員倫理について研修を受けています。

地域住民に向けて園行事の参加呼びかけや育児相談、体験保育の案内をしています

園の玄関脇にある地域向け掲示板に、園行事のポスターを貼って地域住民に向けて参加を呼びかけたり、地域住民向けの育児相談や体験保育のポスターも貼って告知しています。これまで、育児相談や体験保育のみを目的とした問い合わせはありませんが、入園希望の見学者からの質問や育児相談には快く応じています。地域向けの企画・啓発活動については、実績がなく今後の課題となっていますが、園長は機会を捉えて保育園の機能を地域に還元していきたいと考えています。

区私立園長会に参加し、各関係機関との連携も必要に応じて図っています

園長は、区私立園長会に毎月参加して地域情報を積極的に収集するほか、他園の園長との連携も深めています。さらに、区私立保育園連合会の研修会には職員に参加してもらい、職員会議で研修報告の時間を設け、地域の保育の状況を職員間で共有するようにしています。区からの防犯情報や注意喚起情報はメールで配信を受け、子どもの安全確保に役立てています。関係機関の連絡先一覧を事務室に常備し、課題やニーズに応じて区の保健センターや療育センター、子育て支援センター、児童相談所などの関係機関に連絡をとり、連携する体制が整えられています。

カテゴリー2の講評補足

以下はカテゴリー2講評に対して補足がある場合記述してください

公表コメント

非公表コメント

3		カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用			
サブカテゴリ-1(3-1)			
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況	
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		
あり	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		
あり	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している		
あり	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		
あり	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる		
あり	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		
カテゴリ-3の講評			
苦情解決制度やスマイルBOXを設置し、利用者の声に耳を傾けています			
苦情解決のしくみについては、入園のしおりや重要事項説明書に明記し、入園面接説明会でいねいに説明しています。玄関にも苦情受付の掲示をして、利用者がいつでも確認できるようにしています。入園のしおりには区役所担当課の電話番号も明記して、外部にも苦情相談できることが伝えられています。意見箱「スマイルBOX」を玄関に設置して、保護者から気軽に意見や要望を寄せてもらうしくみも用意しています。個人の連絡帳や口頭など、保護者から直接寄せられた申出や意見、苦情については迅速に対応し、全職員での改善、解決を心がけています。			
行事後アンケートを実施して、次回の行事運営に生かしています			
夕涼み会や運動会、親子遠足、生活発表会などの大きな行事終了後には、必ずアンケートを配付して、保護者の意向や要望の把握に努めています。昨年の親子遠足アンケートでは「もう少し遠くが良かった」との要望が寄せられたため、今年度は要望に応じて遠足先を遠くに変更しました。利用者全員の満足を同時に得ることは難しいことと理解したうえで、職員会議やリーダー会議などで検討を重ね、毎年、柔軟に要望に応えながら、保育サービスの向上につながるよう努めています。			
地域情報は園で収集し、保育業界の動向は本社が取りまとめ系列園に配信しています			
園長は、区私立園長会などに参加して、地域の待機児童の状況や習い事意欲の高い地域性など、園周辺の子育てニーズについて把握しています。また、入園希望の見学者との会話からも地域の子育てニーズを把握しています。保育所保育指針の改定など、保育業界全体の動向については本社が情報を取りまとめ系列園に情報メールを配信しています。他園でのプール事故発生を受けて、本社では今夏さらなるプール監視体制の強化やプール開き前の緊急対応訓練の義務付けなどのルールを策定のうえ、系列園に一斉に通達し、事故防止の徹底に努めています。			
カテゴリ-3の講評補足		以下はカテゴリ-3講評に対して補足がある場合記述してください	
非公表コメント			

4		カテゴリー4	
計画の策定と着実な実行		サブカテゴリー1(4-1)	
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		
あり	2. 年度単位の計画を策定している		
あり	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		
あり	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている		
あり	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している		
あり	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している		
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している		
あり	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている		
あり	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している		
あり	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでい る		
		サブカテゴリー2(4-2)	
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している		
あり	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している		
あり	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関な どに具体的な活動内容が伝わっている		
あり	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる		

カテゴリ4の講評

中長期計画では園内研修、自己評価、事故防止について段階的に計画されています

中長期計画は職員会議で話し合いながら内容を決めています。「園内研修」項目の2017年度は、改定保育所保育指針の理解を深めて、職員全体で保育の基礎固めをすることが計画され、2018年度には「主体性を伸ばす保育環境」にも取り組み、2019年度には「絵本を通して広がる保育」へも取り組むことが計画され、園の目ざす保育の着実な実現に向けて、段階的な計画が示されています。さらに、「自己評価」、「事故防止」についても重点課題として中長期計画の中に位置づけ、職員が目標を持って年度ごとのテーマに取り組む体制となっています。

毎年「事業計画」を策定し、年度末に「事業報告」で園全体の振り返りを行っています

単年度「事業計画」には概要(保育目標を達成するために、どのような保育実践をしていくか)、保育内容(園独自の計画)、健康・衛生管理、安全、保護者・地域とその他の事業(今年度の最重要事項)、環境問題への取り組み、職員体制、年間行事予定などの各項目ごとに、年間計画が明記されています。「事業報告」では、計画の各項目ごとに実施報告がなされ、最後に反省が行われて、次年度計画に反映されていくしくみになっています。計画や振り返りの指標としては、本社作成の「保育所の自己評価」や標準指針「にじいろの保育」が活用されています。

各種チェック表を活用して、園内の安全管理を徹底しています

園全体の「安全点検表」に加えて、各年齢ごとの発達と保育環境に応じた「事故防止確認表」、0～2歳児の「午睡チェック表」、職員向け「セルフチェック表」など、本社統一の各種書式を用いて職員は日々点検を行い、子どもの安全管理を徹底しています。子どもの事故は程度に応じて「ひやりはっと報告書」「アクシデントレポート」「事故報告書」に記録を残し、職員間で回覧するなどして情報を共有しています。園内で感染症が発生した際には人数や予防法などを玄関に掲示して、看護師が中心となって、嘔吐処理手順や手洗いの仕方を再確認しています。

カテゴリ4の講評補足

以下はカテゴリ4講評に対して補足がある場合記述してください

公表コメント

非公表コメント

カテゴリー5

5

職員と組織の能方向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
あり	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	
あり	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
あり	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
あり	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	
あり	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
あり	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	
あり	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	
あり	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
あり	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している	
あり	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	
あり	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
あり	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	
あり	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	
あり	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	
あり	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	

	カテゴリ-5の講評
公表コメント	<p>本社作成の「保育者ナビ」に、求める保育者像が明示されています</p> <p>職員の中途採用は、本社人事部が就職希望者の保育経験や保育観などを確認し、採用面接時には園長も同席して、園に適した人材の採用をしています。新卒者向けの会社説明会も毎年開催し、新卒者の採用にも積極的です。本社作成の「保育者ナビ」には、「求められる保育者像」が明示されており、初任社員、自立社員、見本社員の能力・経験別に「安全・衛生へ配慮」や「受容と共感」、「環境構成」、「発達理解」などの各項目についての具体的な成長のめやすが示して、職員が明確な意識と自覚を持って業務にあたるための指針となっています。</p>
	<p>「チャレンジ共有シート」を使って、職員は毎年の成長目標を設定しています</p> <p>職員は、「チャレンジ共有シート」を使用して、個別に一年間の目標を設定し、半期ごとに振り返りをして、園長との年2回の面接を通して、成長と今後の課題の確認を受けています。園長は、「目標に取り組むプロセス」と「目標に取り組んだ結果」の両面で職員の状況を評価するしくみになっています。園長は、職員本人の年間目標や身につけたい資質に応じて「職員育成年間研修計画」を作成し、受講研修を決定しています。本社では、新採用者研修や主任研修、専門職研修、乳児・幼児担当別研修などの各種研修を開催して職員の能力向上に努めています。</p>
	<p>園長は、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます</p> <p>現在、主任不在のため、主に園長が職員の就業状況を把握しています。園長は、今年度から残業をなくして職員が外部研修に出られる環境を整え、会議では職員が一人ずつ必ず発言できるように配慮して、自信を持って仕事が楽しいと思える雰囲気作りをするなど、風通しの良い、やりがいのある職場環境作りに取り組んでいます。有給休暇は、職員間で日程を調整し、本人の希望通りに取得できています。本社の制度として、入社祝い金や歓送迎会費用の補助、帰省交通費補助などが各種支給されており、職員への福利厚生も充実しています。</p>
非公表コメント	<p style="text-align: center;">カテゴリ-5の講評補足</p> <p style="text-align: right;">以下はカテゴリ-5講評に対して補足がある場合記述してください</p>

7		カテゴリ-7	
情報の保護・共有		サブカテゴリ-1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ-7の標準項目実施状況	
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		
あり	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		
あり	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
あり	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		
あり	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		
あり	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		
あり	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		
カテゴリ-7の講評			
「マニュアル所在一覧」を作成し、必要なマニュアルをすぐ参照できるようにしています 職員の業務用手引書「保育ガイド」や園独自で作成している「大崎マニュアル」に加えて、園で使用する各種書式や利用者に配付する書類は多岐にわたります。園長は、「マニュアル所在一覧」を作成し、これら業務に必要な書類やマニュアルの所在がデータ含めて一覧できるように整理し、必要な職員がすぐにアクセスできるように利便性を高めています。園内のパソコンには、保育士共有パソコン含めて全てにパスワードを設定し、情報の安全管理を徹底しています。			
個人情報保護規定に従い、情報管理を徹底しています 児童票などの個人情報は、事務室の鍵付き収納庫に保管して園外への持ち出しは禁止されています。保護者には入園時に「個人情報使用承諾書」に利用目的を明示して説明して許諾を得ています。業務用手引書「保育ガイド」の「個人情報の管理」の項目には、「プライバシーの保護及び守秘義務」、「個人情報取り扱い上の注意」、「注意を要する『プライバシー』『守秘義務』への配慮を怠った事例」など、さまざまな注意喚起がされています。職員同様、実習生やボランティアも活動開始前には「守秘義務に関する誓約書」を提出することになっています。			
公表コメント			
非公表コメント		カテゴリ-7の講評補足 以下はカテゴリ-7講評に対して補足がある場合記述してください	

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善の成果

新園長のリーダーシップのもと、職員が心をひとつにして保育に取り組んでいます

常勤職員の平均年齢27歳、平均在職年数2年と若い職員を中心とした職員構成ということもあり、今年度から着任した園長は、職員間で保育に対する考え方に統一感がやや欠けていると感じ、年度当初から、職員の意識改革に着手しました。まずは、園全体で保育の基本を見直し原点に戻るという観点から、職員全員で保育課程や保育所保育指針の読み合わせをしました。読み合わせをしながら、日々の保育と照らし合わせる作業を行うことで、園が目ざす「あたたかい保育」が職員共通の大きな目標となり、日々の保育に反映されてきています。今回の利用者調査でも「先生方がいつも明るく、良い雰囲気でご信頼できる」「先生が本当に良い人ばかりで安心」といった声が多数寄せられ、昨年と比べて、園内の雰囲気が大きく改善したことがうかがえます。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善の成果

残業をなくし、余裕とやりがいのある職場環境作りに努めています

現在、主任不在のため、主に園長が職員の就業状況を把握しています。園長は、今年度から職員が余裕を持って業務にあたれるように残業をなくし、また、会議では職員が一人ずつ必ず発言できるように配慮して、それぞれの良い点を引き出し、自信を持って仕事が楽しいと思える雰囲気作りをするなど、風通しの良い、やりがいのある職場環境作りに取り組んでいます。昨年度までは、園長含めて職員が外部の会合や研修になかなか出席できない状況が続いていましたが、今年度からは園長含めて職員も区や区私立保育園連合会の研修など、外部の研修にも参加できるようになってきています。研修で学んだことは職員会議で報告する時間を設けて職員間で共有し、これまで以上に、研修で得た知識を実際に保育に応用することを目指しています。そのため、クラスの職員同士が綿密な話し合いをするようになり、さらにチームワークが向上し、職員同士の意思の疎通が昨年度より一層図られるようになってきました。今回の職員自己評価でも「園の雰囲気が明るくなり、働きやすくなった」「保育園ならではのあたたかい雰囲気になり働きやすくなった」「職員がやりたい保育を発言できる環境になった」という意見が見られます。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善の成果

職員の手作り玩具が充実してきており、さらなる発展が期待されます

昨年度から始まった手作り玩具の取り組みが徐々に軌道にのり、内容が充実してきたこともあり、今年度は、職員や子どもの間でも手作り玩具が浸透してきています。手作りを得意とする職員を中心に、牛乳パックや段ボール、その他廃材を活用した手作り玩具や飾り付けが次々と生み出され、園内は子どもが楽しく遊べる手作りのアイデアや飾り付けで彩られています。今年度からは、乳児会議で検討の結果、個数と期限を決めて計画的な玩具作りにも取り組み始めています。3～5歳児クラスでは子どもたちが手作り玩具を自由に取り出して遊んでいる姿が見られ、3歳児クラスでは自分たちで作った太鼓などを使い0歳児クラスで演奏したりしています。職員から始まった手作り玩具の取り組みが、子どもの手作り意欲を引き出し、イメージを広げるきっかけになっています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善の成果

本社による資材の一括購入により、経費節減が実現されています

昨年度までは、0～2歳児向けのペーパータオルは、従来品を半分に切って使用していましたが、今年度からは、従来よりも薄いペーパータオルを本社が採用することで、職員は半分に切る必要がなくなり省力化できました。本社による給食献立の統一化により、食材の購入も業者を集中することで、経費節減につながっています。ペーパータオルや消毒剤などの消耗品は、本社での一括購入により経費削減が図られています。また、園長は、ドアなどの設備の点検と修理を日頃から心がけ、業者に依頼しなくても自分たちで直せるところは直すようにし、園内設備の保全にも日々留意しています。園が直接資材を購入する場合には、業者から見積書を取り、園内で購入の可否を慎重に検討してから購入するなど、本社から与えられている予算内であっても経費節減を意識した発注方法が工夫されています。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている

改善の成果

高齢者施設との交流を開始し、子どもの生活に広がりが生まれています

園長は、地域の病院併設の高齢者施設や保育所併設のデイホームに声をかけて、子どもたちと地域高齢者との交流を開始しています。5歳児クラスの子どもたちが施設を訪問して、風船バレーで高齢者と交流したり、ソーラン節を披露するなど、一緒に楽しい時間を過ごしています。子どもたちとのかかわりを求める地域の高齢者施設のニーズにも応えながら、高齢者との交流を通して子どもたちの生活にも広がり生まれ、新しい体験が重ねられています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ-1毎の標準項目実施状況
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
あり	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	
あり	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	
あり	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	
あり	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	
サブカテゴリ-1の講評		
<p>本社のホームページやパンフレットなどで園の情報を提供しています 本社のホームページには、「想い、こだわり、生活」などの項目を設けて本社が運営する保育園の特徴をまとめ、情報を提供しています。「施設のご紹介」の欄には、施設一覧表を掲載し、当園のページでは園長の顔写真とともに園の特色を紹介し、対象、定員、開園時間、連絡先、地図などを記載しています。また、見学者向けにパンフレットを作成し、保育理念、保育方針、保育目標をはじめとして、園の一日、概要、年間行事予定、延長保育等の利用料金などをコンパクトにまとめて案内しています。</p>		
公表コメント	<p>園の情報は行政に提供し、区の窓口にはパンフレットを置いています 園の情報は、行政に提供しています。区のホームページの「認可保育園一覧」には、各園ごとの定員や所在地、連絡先などを記載し、インターネットで見ることができます。区で作成している「区私立保育園案内」にも掲載されています。また、区の担当窓口には各園のパンフレットを置いて案内しています。区の求めに応じて必要な数を提供し、利用希望者が入手できるよう配慮しています。園では、門外に地域向けの掲示板を設置して、地域の在宅子育て家庭の親子に園行事や体験保育の案内を掲示して参加を呼びかけています。</p>	
	<p>見学の要望には在園児の生活に支障がないように対応しています 利用希望者の問い合わせにはいつでも対応しています。見学の要望には在園児の生活に支障がないよう配慮し、基本的に15時からおやつの時間を中心に設定しています。日程については園行事等も考慮して見学希望者と調整し、午後に都合がつかない場合には午前の時間も対応しています。見学には園長が対応しています。パンフレットを渡して園内を案内し、保育理念を始めとして施設や保育内容などを説明し、見学者からの質問や育児相談にも丁寧に対応しています。</p>	
非公表コメント	<p>サブカテゴリ-1の講評補足 以下はサブカテゴリ-1講評に対して補足がある場合記述してください 現在、ブログは休眠状態となっています。ブログを再開し、保護者に対して、地域に対して園の最新情報を発信されてはいかがでしょうか。</p>	

サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
あり	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
あり	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている
サブカテゴリ-2の講評	
入園説明会を行い入園のしおりや重要事項説明書に基づいて保護者に説明しています 入園説明会を行い、入園のしおりと「重要事項説明書」に基づいて、保育理念をはじめとして保育内容や園のルールを保護者に説明しています。入園説明会終了後、個別に入園面接を行っています。前もって保護者に記入してもらった児童調査票や児童健康調査票に基づいて入園前の子どもの生育状況や生活状況、保護者の意向を聞き取り、職員が内容を「面接表」に記録しています。入園に際してのさまざまな説明については、「面接チェック表」を用いて内容を確認し、すべての説明を受け同意を得たことを書面で確認してもらっています。	
公表コメント	入園当初は保護者の不安や子どものストレスが軽減されるよう、慣れ保育を行っています 「面接表」を基に職員会議で報告し合い、子どもの保育に必要な個別事情や要望を職員間で共有し入園準備を進めています。入園当初は、子どもの負担を軽減し園生活に無理なく慣れていけるように「慣れ保育」を行い、短い時間から徐々に保育時間を延ばしています。入園面接の際に、保護者の就労状況や子どもの集団生活の経験の有無などを考慮して保護者と相談のうえで、1週間を目安に「慣れ保育予定表」を作成しています。入園直後は保護者の不安も軽減できるよう、登降園時には子どもの様子を話し合い連携を図っています。
	就学に向けて卒園児保護者との交流会を行っています 退園後もいつでも相談に応じることを伝え、新しい生活にエールを送っています。卒園後もつながりを大切にして、夕涼み会や運動会などの園行事には1年生に招待状を送っています。また、就学に際して、保育所児童保育要録を作成して各小学校に送付しています。昨年度から、卒園児保護者と在園児保護者との交流会を行っています。在園児を対象として事前にアンケートを行い、話し合いのテーマを決めています。5歳児に限らず在園児保護者が参加し、小学校生活を見据えた子育てについて語り合う集いとなっています。
	サブカテゴリ-2の講評補足
非公表コメント	以下はサブカテゴリ-2講評に対して補足がある場合記述してください

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	
あり	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	
あり	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	
評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	
あり	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	
あり	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	
あり	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	
あり	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	
あり	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
あり	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	
あり	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	

サブカテゴリ-3の講評

年間保育指導計画は保育課程を踏まえ、養護と教育の各領域を考慮して作成しています

年間保育指導計画は、保育課程を踏まえて養護と教育の各領域を考慮して作成しています。年齢ごとの年間保育指導計画には、保育目標を工夫し保育内容のポイントをまとめるほかに、独自に、年齢ごとの発達をわかりやすく表現しています。0歳児は「ほんわかほのほの」、1歳児は「ゆったりすすく」、2歳児は「わくわくにこにこ」、3歳児は「のびのびわいわい」、4歳児は「いきいきうきうき」、5歳児は「きらきらチャレンジ」を掲げています。今後、月案や週案、保育実践報告等に、園独自の年齢別保育目標が生かされるよう期待します。

0～2歳児と特別な配慮を必要とする子どもには、個別指導計画を作成しています

0～2歳児は、月間個別指導計画を作成しています。月ごとに、養護と教育のねらいと内容・子どもの育ちと配慮、家庭連絡支援を立案し、月末に自己評価を記録しています。特別な配慮を必要とする子どもについても、個別指導計画を作成しています。個別指導計画には、保護者との連携を図って、関係機関の指導助言内容を反映しています。また、本社が行っている月1回の臨床心理士による巡回相談においても助言を得ています。個別指導計画の内容は、日々の保護者とのやりとりや個人面談を通してわかりやすく保護者に伝えていきます。

個々の発達経過を記録し、子どもの状況は職員会議などを通して職員間で共有しています

日々の保育内容と子どもの様子は、保育日誌に記載しています。0～2歳児は複写式の連絡帳を使用し、複写を個別日誌として園で保存しています。子ども一人ひとりの育ちの様子は、年齢に応じて「発達経過記録」に記載し、個人面談記録とともに児童票にファイルしています。指導計画はクラス会議で話し合っ作成し、職員会議で報告し合っています。職員は、会議録や指導計画に目を通し子どもの状況を把握し活用しています。日々、子どもや保護者の状況に変化があった場合には、「申し送り表」に記入して全職員に周知しています。

サブカテゴリ-3の講評補足

以下はサブカテゴリ-3講評に対して補足がある場合記述してください

公表コメント

非公表コメント

		サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			サブカテゴリ-5の標準項目実施状況
	評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している			評点(〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		
	あり	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		
	評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している			評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	あり	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		
	あり	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		
	あり	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		
あり	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			
あり	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている			
サブカテゴリ-5の講評				
公表コメント	子どものプライバシーを保護し、羞恥心に配慮した支援を行っています 子どものプライバシーを保護し、羞恥心に配慮した支援を行っています。入園時には個人情報取り扱いについて保護者に説明し、「個人情報使用承諾書」で保護者の同意を得ています。子どもがけがをして医療機関を受診する場合など、情報を外部とやりとりする場合には、事前に保護者の了解を得ています。園内は外部から見えにくい構造となっておりますが、おむつ交換などの際は仕切りを設けています。玄関横のスペースで行うプール遊びは、目隠しシートなどで外部からの視線を遮っています。			
	子どもの人権について学び、職員が相互に日常の言動の振り返りを行っています 「保育ガイド」を基に、年度始めの職員会議では児童憲章や子どもの人権について読み合わせを行っています。子ども一人ひとりを尊重し、例えば子どもの食事についても言葉かけに配慮し、無理に全量食べることを強めないよう注意しています。また、あだ名で呼ばない、大声を出さない、命令しないことを確認し合っています。日々の保育の中で、子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動がないよう互いに振り返りを行っています。話しやすい職場環境作りにも努め、気になることがあった場合には職員間で注意し合うことができるようにしています。			
	「虐待の対応フロー」に基づき、関係機関と連携して対応できるよう体制を整えています 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っています。これまでのところ虐待が疑われる事例はありませんが、虐待の早期発見に向けて「保育ガイド」の「虐待対応フロー」に基づき、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、園長が本社に連絡し関係機関と連携して対応できるよう体制を整えています。園では職員の入れ替わりもあることから、今後、虐待防止や育児困難家庭の支援に向けて職員が外部研修に参加して学んでいきたいと考えています。			
	サブカテゴリ-5の講評補足			
非公表コメント	以下はサブカテゴリ-5講評に対して補足がある場合記述してください			

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている
あり	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目
あり	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
あり	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
あり	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている
あり	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
あり	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている

サブカテゴリ-6の講評

本社の業務用手引き書「保育ガイド」を基に、業務の標準化を図っています

本社の業務用手引き書「保育ガイド」には、グループの概要をはじめとして保育理念、保育の実践、人権、危機管理、自己評価などさまざまな分野のマニュアルが整備されています。「保育ガイド」は事務室に置き、職員がいつでも確認できるようにし、必要に応じて職員会議で読み合わせを行い、基本事項や手順等の確認をしています。さらに、本社では、求める保育者像を示す「保育者ナビ」や業務の標準を示す「にじいろの保育」を作成し、職員が自らを振り返り確認できるようにしています。

園長が交代し保育課程や保育指針の読み合わせを行い、日々の保育の見直しをしています

園では、早・遅番、保育書類、園長不在時緊急対応など園の状況に合わせた「大崎マニュアル」を作成し、必要に応じて見直しをしています。新職員体制のもと、年度始めの園内研修では保育課程や保育指針の読み合わせを行いました。園長が交代したことで、保育理念の実現に向けて原点に戻り職員間で協力し合って保育に取り組むことを再確認しました。職員間の話し合いを多く持ち、コミュニケーションを図っています。子どもたちにとってどんなかわかり方が大切か、どんな環境が大切かを考えて日々の保育の見直しをし、より良い保育に取り組んでいます。

職員は本社研修や外部研修に参加して知識や技術を学び職員間の連携を深めています

職員は本社研修や区、また区私立保育園連合会が主催する研修に積極的に参加して知識や技術を学んでいます。本社では、職種や経験年数に応じた研修を行っています。外部研修に参加した職員は報告書を作成して職員会議などで発表し、職員間で内容を共有しています。園内では遊びの環境作りとして、発達に沿った手作りおもちゃの作成を課題に取り組んでいます。保育経験の少ない職員が多い中で、園長はリーダーシップを発揮して話しやすい環境作りに努め、職員間の連携が深まるよう取り組んでいます。

サブカテゴリ-6の講評補足

以下はサブカテゴリ-6講評に対して補足がある場合記述してください

公表コメント

非公表コメント

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	あり	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	
	あり	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	
	あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	
	あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	
	あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	
	あり	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	
評価項目1の講評			
公表 コメント	<p>一人ひとりの気持ちを受け止め、共感を大切に保育を行っています</p> <p>個々の発達や生活状況を職員間で共有し、保護者の就労状況も踏まえて柔軟な対応や支援ができるよう取り組んでいます。子ども一人ひとりの気持ちを受け止めて寄り添い、共感を大切に保育を行っています。ワンフロアの園舎で園庭や遊戯室はありませんが、定員60名の小規模園の良さを生かして全職員が子ども一人ひとりを見守っています。日々の生活の中で異年齢の子ども同士のかかわりが多く、職員はたくさんの愛情と笑顔で接し、第2の家庭として保育園が楽しいと思ってもらえるよう努めています。</p>		
	<p>子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちを尊重して、年齢に応じた対応をしています</p> <p>特別な配慮を必要とする子どもの保育にあたっては、担当職員を配置して個別に必要な支援を行い、集団生活を通して互いに成長できるよう援助しています。日々の保育の中で、子どもたちにはいろいろな人がいることを知らせ、子ども同士が年齢や文化、習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助しています。子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちを尊重し年齢に応じた対応をしています。特に、1、2歳児のかみつきやひっかきなどが起こった場合は、「アクシデントレポート」に記録し職員間で話し合い、再発防止に努めています。</p>		
	<p>就学に向けて、近隣保育園といっしょに小学校訪問を行っています</p> <p>就学に向けて、自分でできることの範囲を広げ、自分に自信を持って明るくのびのびと生活できるよう援助しています。5歳児は、就学に期待が持てるよう、近隣保育園といっしょに小学校訪問に出かけています。小学校訪問では入学までしておくことについて話を聞き、その後の活動に組み入れています。5歳児保護者にもクラスだよりなどを通して、内容を伝えています。また、地域の保幼小連携活動の一環として区民会館で行われる子どもアートフェスタ(子ども音楽会)には、地域の幼稚園や保育園といっしょに参加しています。</p>		
非公表 コメント	評価項目1の講評補足	以下は評価項目1講評に対して補足がある場合記述してください	

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目			
あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			
あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している			
あり	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			
あり	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			
評価項目2の講評				
<p>登園時には家庭での子どもの様子を保護者に確認しています</p> <p>登園時には受け入れ担当職員が、明るく元気にあいさつをして子どもと保護者を迎え入れています。子どもの生活の連続性に配慮し、健康観察を行い、家庭での子どもの様子を保護者に確認しています。気がついたことや保護者からの連絡事項は、「申し送り表」に記入して職員間で引き継いでいます。全園児が連絡帳を使用し、0～2歳児は24時間の生活リズムが把握できるよう健康状態や食事、排泄などについて園と家庭とで情報を交換しています。3～5歳児はノート形式のものを使用し、日々短文でもできるだけ子どもの様子を伝えるよう努めています。</p>				
公表コメント	<p>家庭との連携を図り、食事や排泄などの基本的な生活習慣が身につくよう援助しています</p> <p>家庭との連携を図り、食事や排泄などの基本的な生活習慣が身につくよう援助しています。個々の発達の状態は個人面談や日々のやりとりを通して保護者と共有し、無理のないよう配慮しています。月齢や年齢に応じた午睡時間を設定して、十分に休息が取れるよう配慮しています。訪問調査日、0歳児では、朝の目覚めが早く登園時間の早い子どもが午前中も睡眠が取れるよう援助していました。また、年度の前半は4、5歳児合同保育を行っていますが、後半は5歳児の午睡をなくし、就学に向けた活動ができるよう3歳児と保育室を交換しています。</p>			
	<p>降園時にはその日の子どもの様子を保護者一人ひとりに直接伝えています</p> <p>降園時には、その日の子どもの様子を保護者一人ひとりに直接伝えています。クラスごとに日中の活動の様子と翌日の予定は掲示して知らせています。担任以外の職員も、「申し送り表」に記入して伝達もれのないように引き継ぎを行い、1日の様子やポイントを短くまとめて話すように努めています。延長保育中にけがをしたり気になることがあった場合には、園長や担任に連絡を入れて、次の日の早番担当保育士にも知らせ、翌朝、家庭での子どもの様子を確認できるようにしています。</p>			
非公表コメント	評価項目2の講評補足		以下は評価項目2講評に対して補足がある場合記述してください	

3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	
	あり	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	
	あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	
	あり	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	
	あり	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	
	評価項目3の講評		
公表コメント	手作りおもちゃを工夫し、子どもが主体的に遊べるよう環境作りに取り組んでいます 手作りおもちゃを工夫し、子どもが主体的に遊べるよう環境作りに取り組んでいます。0～2歳児では職員が手作りのおもちゃ作りに力を入れて取り組み、遊びが豊かになるようコーナーの充実を図っています。3～5歳児では、職員が色画用紙の端材をひも通しおもちゃに活用したり、子どもたちも廃材を使っておもちゃ作りをし、ゲームをしたりして楽しんでいます。日々の保育の中で、使った物を片づけたり、順番を守ったり、決まりを守ることの大切さを知らせ、自分の気持ちを調整する力が育つよう援助しています。		
	専門講師による体育指導や造形指導を行い、表現が豊かになるよう援助しています 保育目標の一つに「自己を表現できる子ども」を掲げ、さまざまな豊かな体験を通してものを見たり、感じたり、考えたりして喜びや驚きを伝え、さまざまな場面で自分の思いを自分らしく表現できる子どもに育つよう援助しています。3～5歳児は、専門講師による体育指導と造形指導を行い、職員も学んでいます。年間計画に基づいて年齢発達に応じた運動指導を受け、子どもが体を動かすことに意欲が持てるよう援助しています。造形指導では今年度5歳児が藍染めを体験し、運動会には揃いの藍染めTシャツを着て参加することが計画されています。		
	戸外活動を通して自然と触れ合い、季節の移り変わりを感じとっています 園はビルの1階に位置し広い園庭はありませんが、園の前には公園があり、一時避難場所として避難訓練を行ったり夕涼み会の際に利用したりしています。駅に近く、ビルが多い地域ですが、近隣には多くの公園や遊歩道が整備されています。散歩マップを作成し、安全に配慮しながら季節ごとに年齢や目的に応じて散歩先を決めて出かけています。五感を通して季節の移り変わりを感じとることができるよう配慮し、職員は春には桜の花びら、秋にはどんぐりを拾い集めて子どもたちに見せています。		
非公表コメント	評価項目3の講評補足		以下は評価項目3講評に対して補足がある場合記述してください

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	
	あり	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	
	あり	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	
評価項目4の講評			
日々の保育の延長として、年齢に合わせてさまざまな行事を楽しんでいます 子どもの日や七夕、節分、ひなまつりなどの季節行事を大切にしています。日々の保育の延長として、年齢に応じて製作活動に取り組んだり、行事に因んだクッキングを行ったり、集会を行って日本の伝統文化を子どもたちに伝えています。行事は、年齢に応じて子ども一人ひとりが楽しめることを大切にしています。節分には豆まきを行っていましたが、大豆アレルギーのある子どもに配慮して、豆をまかずに楽しめる方法を本社より提案され、大豆の代わりに紙を丸めて豆を作り安全にみんなで楽しむことができました。			
公表 コメント	行事を通して、みんなで力を合わせて取り組み達成感を味わっています さまざまな行事は、年齢に合わせて子どもが自信を持ち楽しく参加できるよう配慮しています。行事に向けた取り組みの中では、3～5歳児を中心に子ども同士が話し合い、興味や関心を持って意欲的に取り組めるよう援助しています。5歳児は、夕涼み会でソーラン節を披露しています。運動会では、専門講師による体育指導の成果を披露できるように組み体操を種目に取り入れています。5歳児がみんなで力を合わせて取り組む姿を見ながら、4歳児も運動会には円形の布を使った集団演技を披露し、達成感を味わっています。		
	年間行事予定表を配付し、保護者も楽しみに行事に参加できるよう取り組んでいます 入園説明会では、年間の行事予定を説明しています。年度当初に「年間行事予定表」を配付し、懇談会でも再度保護者参加行事の内容を説明して、理解と協力をお願いしています。毎月の園だよりには行事予定を掲載し、行事ごとに詳細なお知らせも配付しています。保護者参加行事を通して、園の取り組みや子どもたちの様子を見てもらい、ともに子どもの成長を喜び合えるよう取り組んでいます。日々の保育の中で、取り組みの様子を知らせ、保護者も楽しみに参加できるよう配慮しています。		
非公表 コメント	評価項目4の講評補足		以下は評価項目4講評に対して補足がある場合記述してください

5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	
	あり	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	
評価項目5の講評			
保育時間の長い子どもが不安にならないよう配慮しています 7時から20時30分までの保育を行っています。7時から7時30分、18時30分から20時30分は延長保育時間とし、夕方の延長保育では補食を提供していますが、保護者の要望に応じて事前に申し込んでもらい夕食を提供しています。保育時間の長い子どもが、できるだけ家庭的な雰囲気の中で不安にならないよう環境を整え、安全に配慮した保育を行っています。朝夕は合同保育を行い、特に夕方は子どもの人数を考慮して合同保育を行っています。異年齢の子ども同士がかかわり合って遊ぶ中で、それぞれが満足し楽しく遊べるよう取り組んでいます。			
公表 コメント	日々の保育の中で異年齢の交流を図っています 定員60名の小規模園で、日々の保育の中で異年齢の交流を図っています。訪問調査日には、4、5歳児合同クラスに朝から3歳児も加わっていっしょに遊んでいました。朝の会も合同で行い、3歳児の当番の子どもも担任の援助の声かけを受けながら友だちの名前を呼び、出欠確認をしていました。園では、就学に向けて、年度の後半には3歳児と5歳児が保育室を交換しています。異年齢クラスで散歩に出かけたり、保育室に遊びに行ったり、日々の保育の中でかかわり合い、保育室を交換することも自然な形で引き継がれています。		
	評価項目5の講評補足		
非公表 コメント	評価項目5の講評補足		以下は評価項目5講評に対して補足がある場合記述してください

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	
	あり	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
	あり	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	
	あり	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	
評価項目6の講評			
公表 コ メ ン ト	楽しい雰囲気の中で、おいしく食事ができるように援助しています 本社統一の献立を基に園独自の行事食も取り入れた2週間サイクルの献立表を作成しています。ごはん中心の和風献立で、食材そのものの味を大切に薄味で色彩にも配慮し、安心して安全な給食を提供しています。献立や食材、栄養について話したり、楽しい雰囲気の中でおいしく食事ができるように援助しています。訪問調査日、4、5歳児クラスでは当番が配膳の手伝いをしていました。配膳図は写真で掲示し、主食、汁、主菜、副菜、デザートと5皿が並び、主菜と副菜の味が交わることはないよう皿を別にし、それぞれの味を大切に盛り付けています。		
	食物アレルギーのある子どもには、除去食を提供し誤食防止に取り組んでいます 食物アレルギーのある子どもには、主治医の意見書(生活管理指導表)を基に保護者と面談を行いアレルギーの状況を確認し、除去食を提供しています。毎月、保護者とアレルギー対応の個別献立表の内容を確認し、日々、「申し送り表」に記入して当日の除去食の内容を職員間で確認しています。ほかの子どもの食事の配膳後に、調理職員と正規職員が専用食器、専用トレーに名前を記入したアレルギー除去食内容を確認して配膳しています。専用の机で職員がそばについて食事の様子を見守り、誤食防止に取り組んでいます。		
	栽培やクッキングを通して、食への興味や意欲を高めています 食べることを楽しみ「食を営む力」を養うとの目標を掲げた「年間食育計画」を基に、栽培やクッキングを通して食への興味や意欲を高めています。玄関前にプランターで、3～5歳児がゴーヤやピーマン、なすなどの夏野菜を栽培しています。実がなったら自分たちで収穫し、クッキングなど給食食材として活用することで苦手な野菜も食べようとする子どもが増えてきています。収穫した夏野菜で3～5歳児が協力してカレー作りを行う計画でしたが、皮が固くて利用できませんでした。園では、失敗も今後に活かして取り組んでいきたいと考えています。		
	評価項目6の講評補足 以下は評価項目6講評に対して補足がある場合記述してください		

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	
	あり	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	
	あり	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	
評価項目7の講評			
公表 コ メ ン ト	子どもが自分の健康や安全に関心が持てるよう援助しています 年齢に応じて手洗いやうがいなどの仕方をわかりやすく子どもに伝え、感染症予防に取り組んでいます。また、安全対策に取り組み、けがをしないよう努めています。室内では走らないこと、はさみなどの道具の使い方、散歩の際の歩き方など、日々の保育の中で身の回りの危険について子どもに知らせています。看護師は、定期的なうがいや手洗い、歯磨きなどについて健康指導を行っています。避難訓練計画の中には、園外の公園への避難や起震車体験、小学校への避難訓練なども策定され、子どもが自分の健康や安全に関心が持てるよう援助しています。		
	嘱託医との連携を密にし、必要に応じて地域の医療機関を紹介できるようにしています 毎月身体測定を行うとともに、0歳児は毎月健康診断を行っています。1～5歳児は年2回定期健康診断、年2回歯科健診を行い、測定や健診の結果は保護者に知らせています。嘱託医とは、健診時には地域の感染症状況を聞いたり、健康生活に対するアドバイスを得るなどして連携を密にし、必要に応じて相談しています。また、保護者の求めに応じて地域の医療機関を紹介できるように一覧を作成しています。医療的なケアが必要な子どもには、保護者と連絡を密にし専門機関等との連携に基づく支援を行っています。		
	園内で感染症が発生した場合は、掲示して知らせ、感染症の拡大防止に取り組んでいます 園内の感染症発生状況は、日々玄関ホールに掲示して知らせています。訪問調査日には、「感染症発生なし」と掲示されていました。感染症が発生した際には予防策も合わせて掲示し、感染拡大を防いでいます。園はビルのワンフロアを年齢ごとのクラスに仕切っているため、外部に面する窓がないクラスもあり、日々の換気や清掃など衛生面には特に注意を払っています。乳幼児突然死症候群(SIDS)についてはお知らせを掲示して注意喚起し、園では午睡時あお向けで寝かせ、定期的な睡眠チェックを行って確認しています。		
非公表 コ メ ン ト	評価項目7の講評補足 以下は評価項目7講評に対して補足がある場合記述してください		

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	
	あり	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	
	あり	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	
	あり	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	
	評価項目8の講評		
公表 コメント	保護者には個々の事情に配慮し、安心して子育てができるよう支援しています 保護者には子育てや就労など個々の事情に配慮して、安心して子育てができるよう支援しています。入園時の面接や調査票から家庭や保護者の状況を把握し、入園後も日々のやりとりや個人面談を通して個々の状況を把握しています。保護者の相談にはいつでも応じ、保護者の価値観や生活習慣を尊重した対応を心がけています。保育時間は保護者の就労時間と通勤時間を合わせて決めています。急な残業などで保育時間を変更したい場合には柔軟に対応しています。		
	保護者参加行事を通して、保護者同士が交流できる機会を設けています 懇談会のほか、親子遠足、夕涼み会、運動会、生活発表会などの保護者参加行事を行い、保護者同士が交流できる機会を設けています。懇談会では年齢ごとに発達段階のポイントや園の保育内容を説明するとともに、日ごろ顔を合わせることで少ない保護者同士が意見交換できるよう配慮しています。親子遠足は春に行い、親子ぐるみで親睦が図れるよう配慮しています。運動会や生活発表会は、日ごろの保育の成果を保護者に見てもらおうとともに成長を喜び合えるよう取り組んでいます。保護者参加行事後は、アンケートを行って次年度に反映させています。		
	保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係が築けるよう取り組んでいます 保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係が築けるよう取り組んでいます。保育参加として、誕生会には誕生児の保護者を招待し、子どもたちといっしょに食事をしています。誕生会では、今年度から職員が出し物を工夫して、楽しんでもらえるよう取り組んでいます。月によっては誕生児の人数が多く混み合ってしまうこともありますが、園の保育を体験してもらおう機会としています。また、園では手作りおもちゃに力を入れて取り組んでいることから、家庭で不要になった菓子箱や牛乳パックなど廃材集めに協力してもらっています。		
	評価項目8の講評補足 以下は評価項目8講評に対して補足がある場合記述してください		
非公表 コメント			

9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	あり	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	
	あり	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	
	評価項目9の講評		
公表 コメント	図書館に出かけたり近隣保育園でプールを借りたり生活の幅を広げています 毎月1回、3～5歳児は図書館に出かけています。訪問調査日、3～5歳児は図書館に出かけてそれぞれ好きな絵本を借りて来ていました。園には走り回れるような園庭がなく、夏は玄関横にビニールプールを置いて水遊びを楽しんでいます。区立園との連携を図り、3～5歳児は区立園のプール体験に出かけたり、体育指導で使用する跳び箱などを借りたりしています。また、5歳児は区文化センターでプラネタリウム鑑賞をしたり、4、5歳児は交通機関を利用してさつま芋掘り体験に出かけたりして、子どもの生活の幅を広げ、体験を豊かにしています。		
	地域とともに育つ保育園を旨ざし交流の輪を広げています 地域とともに育つ保育園を旨ざし、園行事には地域の方を招待したり今年度は高齢者施設を訪問するなどして交流の輪を広げています。夕涼み会は近くの公園を借り、運動会は地域の小学校の体育館を借りて行い、地域の方に参加を呼びかけています。町内会に加盟し、園行事には町内会の備品を借りたり町内会館を借りたりしています。近くの神社のお祭りには、5歳児が地域の子どもたちといっしょにみこしをかついでいます。園の向かい側にあるガソリンスタンドの方には日ごろから声をかけてもらい、クリスマス会などの園行事に協力してもらっています。		
非公表 コメント	評価項目9の講評補足 以下は評価項目9講評に対して補足がある場合記述してください		

調査対象

保育園を利用している52世帯を対象に調査を実施しました。在園児は59名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数	59
利用者家族総数(世帯)	52
共通評価項目による調査対象者数	52
共通評価項目による調査の有効回答者数	34
利用者総数に対する回答者割合(%)	65.4%

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が15人(44.1%)、「満足」が18人(52.9%)で「満足」以上の回答は合計33人(97%)でした。

自由意見には、「いつも柔軟に対応いただき、感謝しています。経営層の先生をはじめ、先生方皆さん明るく、とてもいい対応いただいています」「先生方の人柄が一番です。今日あったことなど、連絡帳にたくさん書いていただけるので安心できます」「何よりも子どもが楽しそうに登園しているのが一番ありがたく、保育園に感謝していることです。この園に入園できて良かったです」など、園に感謝と信頼を寄せる声が多く見られます。

項目別に見ますと、「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」「職員の接遇・態度は適切か」で97.1%、「園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものか」「登園時の声かけについて」で94.1%、そのほか「家庭と保育園の信頼関係について」などでも91.2%の保護者が「はい」と回答し、とても高い満足度がうかがえます。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	32	2	0	0
「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が5.9%でした。 コメントはありませんでした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	32	2	0	0
「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が5.9%でした。 自由意見には、「造形やお料理、体操など色々な活動を準備して下さっています」などの声がありました。 その一方で、「日中の過ごし方や行っていることを詳細にわかっているわけではない」という意見もありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	26	8	0	0
「はい」が76.5%、「どちらともいえない」が23.5%でした。 自由意見には、「うす味で美味しくすばらしいです」「一度試食させていただきましたが、バランスよく、美味しかったです」などの声がありました。その一方で、「かみ切れない大きさ、硬さのお肉が出る」「おやつは、甘いものよりも野菜を取り入れたり、手作りのものを希望します」という意見もありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	22	10	2	0
<p>「はい」が64.7%、「どちらともいえない」が29.4%、「いいえ」が5.9%でした。 自由意見には「積極的に戸外遊びをさせてくれていますが、都心で自然が少ないのが残念なところです」「できれば午後も戸外遊びができるようになると嬉しいです」などの声がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	28	3	1	2
<p>「はい」が82.4%、「どちらともいえない」が9.8%、「いいえ」が2.9%、「無回答・非該当」が5.9%でした。 自由意見には、「いつも急な変更でも快く対応して下さい、助かっています」「とても柔軟に対応いただいています」「電話をすれば柔軟に待って下さいます」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	25	9	0	0
<p>「はい」が73.5%、「どちらともいえない」が26.5%でした。 自由意見には、「詳しくわからないが、おそらく問題ないと思う」などの声がありました。 その一方で、「ガードマンがいると、なお良いと思います」「門がないので少し怖く感じる時がある」という意見もありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	5	1	0
<p>「はい」が82.4%、「どちらともいえない」が14.7%、「いいえ」が2.9%でした。 自由意見には、「いつも土曜日です。かえて先生方が休めないのでは、と心配になります」などの声がありました。 その一方で、「近隣の小学校のイベントと重なり、兄弟姉妹がいる親は困っています」「基本的には配慮して下さっていますが、平日の夕方に保護者会があり、調整が必要です」という意見もありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	31	3	0	0
<p>「はい」が91.2%、「どちらともいえない」が8.8%でした。 コメントはありませんでした。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	33	1	0	0
<p>「はい」が97.1%、「どちらともいえない」が2.9%でした。 自由意見には、「いつも清潔で掃除が行き届いています」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	33	1	0	0
<p>「はい」が97.1%、「どちらともいえない」が2.9%でした。 自由意見には、「元気はつらつで礼儀正しいです」「どの先生も本当に良い方ばかりです」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	33	1	0	0
「はい」が97.1%、「どちらともいえない」が2.9%でした。 コメントはありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	24	8	0	2
「はい」が70.6%、「どちらともいえない」が23.5%、「無回答・非該当」が5.9%でした。 自由意見には、「いつもは優しく、叱る時はびしっとされています」などの声がありました。 その一方で、「子がケガをしたとき、相手の名前を覚えてもらえなかった」という意見もありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	5	0	0
「はい」が85.3%、「どちらともいえない」が14.7%でした。 自由意見には、「どの先生も大切に下さっていると思います」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	31	2	0	1
「はい」が91.2%、「どちらともいえない」が5.9%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 コメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	31	3	0	0
「はい」が91.2%、「どちらともいえない」が8.8%でした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	27	6	0	1
「はい」が79.4%、「どちらともいえない」が17.6%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 自由意見には、「子どもが他の子に暴力を振るわれた時、不満を伝えたところ、ていねいに対応していただきました」などの声がありました。 その一方で、「聞いてはくれるが具体的な対応がされない時たまにある」という意見もありました。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	20	8	4	2
「はい」が58.8%、「どちらともいえない」が23.5%、「いいえ」が11.8%、「無回答・非該当」が5.9%でした。 自由意見には、「入園した時に説明がありました」などの声がありました。				